

文化財保存 活用地域計画ニュースレター

Vol.2

2023.3

発行 富田林市教育委員会生涯学習部 文化財課

● 市民や地域の皆様、文化財の所有者、活動団体などにご意見をお聞きしました

地域社会総がかりによる『富田林市文化財保存活用地域計画』の作成に向けて、市民等の皆様のご意見を計画に反映するために、アンケート及びヒアリング、ワークショップを実施いたしました。

アンケートは、市民、町総代、文化財所有者、活動団体の皆様を対象に実施いたしました。一部の活動団体については、実際の活動の中で感じておられる課題をお聞きするためにヒアリングも実施いたしました。

皆様からいただいたご意見を踏まえて、今後は歴史的文化資源の保存・活用のために具体的に何を実施していくかの計画づくりを進めていきます。

	回答数	実施時期
市民アンケート	385人 (配布数:1,500)	2022年9月
町総代アンケート	116 町会・自治会	2022年9月
文化財所有者アンケート	12件	2022年10月
活動団体アンケート	13団体(うち5団体ヒアリング)	2022年10月 (ヒアリング11月)

● アンケート・ヒアリング結果の概要

「市民アンケート」では、市民の文化財に対する意向等について質問し、情報発信の必要性などに関する回答が得られました。また、約7割の方が文化財の保存・活用のためにできることを回答されていました。

「町総代アンケート」では、地域で管理している石造物やお祭り等を継承していくうえでの取組みや課題認識等について質問し、後継者や担い手に関する課題の重要性などに関する回答が得られました。

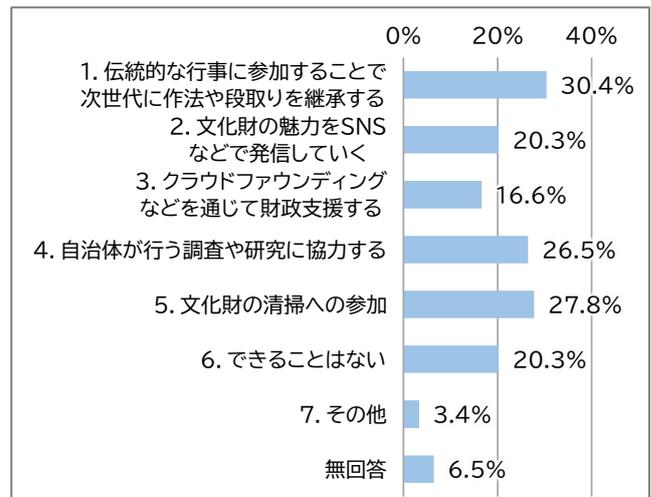
「文化財所有者アンケート」では、実際に指定等文化財を所有・管理するうえでの現状・課題等につい

て質問し、連携体制による保存・活用の必要性などに関する回答が得られました。

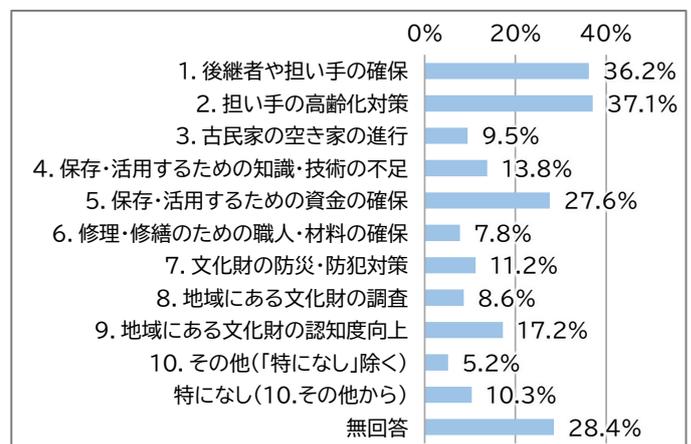
「活動団体アンケート・ヒアリング」では、活動内容と課題・要望等について質問し、寺内町やお祭りの継承・活用の課題などに関する回答が得られました。

課題・要望に関するご意見は、いずれのアンケート・ヒアリングにおいても、調査や保存に関するものから、公開・活用、整備、担い手などに関することまで、あらゆるご意見があげられていました。

アンケート回答結果の一例



△「あなたが、文化財の保存・活用のためにできると思うことは何ですか？」の回答結果（市民アンケート問6）



△「地域にある文化財の保存・活用で、課題だと感じていることはありますか？」の回答結果（町総代アンケート問3）

● 「地域のお宝」アンケート結果の概要

市民アンケートなどにおいてお聞きした『あなたの住む地域にある古いもので、「地域のお宝」だと思うものは何ですか?』といった質問に対して、271名から394件(※重複あり)の回答がありました。

「地域のお宝」として、「寺内町」や「だんじり・秋祭り」、「神社」に関する回答が比較的多くありました。他にも様々な回答があり、「東高野街道」や「農村風景」、「エビイモ」といった回答もありました。

「地域のお宝」ランキング

	分類別編	個別編
1位	神社(54件)	寺内町(51件)
2位	寺内町・古い町並み(52件)	だんじり・秋祭り(44件)
3位	だんじり・秋祭り(47件)	錦織神社(23件)
4位	地蔵(34件)	美具久留御魂神社(17件)
5位	古墳・遺跡(18件)	地蔵盆(11件)

● ワークショップ結果の概要

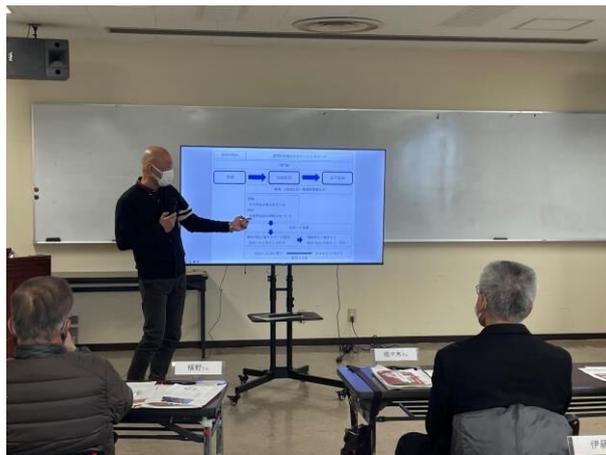
文化財の保存・活用に関する多様な意見やアイデアを計画に反映するために、ワークショップを開催しました。参加者は市内在住・在学・在勤の13名で、コーディネーターとして阪南大学国際観光学部国際観光学科の和泉大樹教授につとめていただきました。

参加者からは、課題認識として「存在や歴史を知ってほしい」というご意見が多く、文化財を巡る観光ツアーや見学会、健康と文化財巡り、体験イベント、地域の歴史や文化財を知るフィールドワークやワークショップなど、様々な活用アイデアが出されました。

開催日	実施内容
1/22 (日)	・ウォーキング形式での巡見(※任意参加) 錦織神社→富田林寺内町→旧田中家住宅→新堂廃寺跡→美具久留御魂神社→粟ヶ池
1/29 (日)	・富田林市の歴史的文化資源の概要(市) ・活用の考え方について(和泉先生) ・自己紹介(参加者個人) ・ワークシートの記入(参加者個人) ・活用について話し合い(グループ)
2/12 (日)	・ワークシートの記入(参加者個人) ・活用について話し合い(グループ) ・活用アイデアの個人発表(参加者個人) ・まとめ(和泉先生)



△まちあるきの様子



△和泉先生による活用の考え方についての説明



△グループでの話し合いの様子



△活用アイデア発表の様子